

11月2日(日)

色々なネタ  
ご用意しております

# 寿司バイキング

1貫

100円~  
(税込)

朝晩の冷え込みがきびしい季節になりましたね。体調崩さないようにしましょうね!

さて今回の広告は、大人気の寿司バイキングが日曜日、祝日月曜日は特大塩さばを販売致します。

3回目になるバイキングは、お好きなネタをお好きな数だけ頂けるから人気です。こういうのして欲しかつたお客様からお声かけ頂き、やつて良かつた!とスタッフ一同喜んでいます。今回もとびきりなネタをご用意し、お待ちしております。

月曜日は、広島県では自店のみの、特大ノルウェー産塩さばを販売致します!

どこにも渡したくない自分の強い思い、庄原の皆様に喜んでもらいたい!という一心で全量仕入れ致しました!

脂ののった塩さばを焼いたり、しめさばにしてみて下さい。

ふるさと祭りも各地であると思いますが、沢山のご来店スタッフ一同お待ちしております。

11月3日(月・祝)

限定100匹

# 特大塩さば

1匹

1,580円  
(税込)

ノルウェー産



# 西田鮮魚店

872-5246

御用聞き便専用番号 090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

# 『10月26日 日曜日の私』

鮮コープレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

## I 大谷と山本と朗希を応援する私

大谷翔平だけじゃなくなつた。山本由伸に加え10月は佐々木朗希まで応援しなくてはいけなくなつた。忙しい。でも私はだけじゃないらしい。こんなのは。

明日からブルージェイズとのワールドシリーズが始まるという金曜日、ヘアサロンヨシタカに髪を切りに行つた。いすに座り、ケープ（あのエプロンみたいなものをこう呼ぶらしい）をかけてもらいたながら、これから伝説になるだろう、あの試合の話をした。

「大谷すごいよね。三振10個とつて、ホームラン3本」

「見れんかったんよね、仕事で。ええねえ暇で」

気にしてることを言う。まあホントだから仕方ない。73才だ。それもいいじやろ。でも、考えてみれば、朝から野球を見る人間がそうたくさんいるとも思えない。

そういうえば篤生はビデオにとつておいて、夜見るのだと言つていた。だいぶ前になるが、私がベラベラと試合の結果を話して叱られた。「帰つてから見るんじやけえ黙つといてくれ」と。そんな人、多いんだろうな。ごめん、ごめん。

とはいえ、私みたいな暇人もけつこういるようだ。

悦子が言つていた。「大谷の試合見るのはいいんじやけど、もうちょっと静かに見てほしいと友達がこぼしとつた」と。

どうやら、その友達のご主人は、大谷が打てば打つたで、三振したら三振したで、いちいちうるさいらしい。それは、わかる。私も、打つたら「ようやつた」と手をたたいて叫ぶし、ランナー三塁で三振したら「ここで打たにゃ！」とぶつぶつ言う。

それが朝の日課。仕事してるみんなには申し訳ないが……。

## II ワールドシリーズ第2戦を見る私

この日もそだつた。

ワールドシリーズ第2戦。前日はブルージェイズに4対11で大敗。大谷はツーランホームランを打つたが焼け石に水。おかげで夜の『ワースポ MLB』も見ることなく早く寝た。もうこのまま4連敗するような気がして心がふさいだ。一日中。自分でも信じられないが、ほんとに心がふさぐのだ。『大谷うつ（病）』だ。もちろん逆もある。10奪三振、3ホームランの時は一日中機嫌がよかつた。心が晴れやかだった。『大谷晴れ』だ。

で、この日。先発は山本。立ち上がりこそ不安定だったが、

回を追うごとにバッタバッタと凡打の山。素晴らしい。大谷

が打たなくとも気にならない。

二階の部屋で見た。頻尿の気がある私は、ほぼ1・5イングごとにトイレに行く。二階のトイレは立つて用をたすな

と、きつく言われているので小便器のある下のトイレに行く。

## III 山本に胸ふるわす私

キッチンを通るとき、流しに水が張られたボールに栗が浸かっているのが見えた。傍らの大皿に皮をむいた栗が5～6個。そういうえば青山のお母さんが栗を持って来られていた。

なんでも裏山で孫の誉（ほまれ）といつしょに拾つたのだそうだ。ふと見ると、横の台にもち米の袋。「そうか栗おこわか」といながら用をたしてまた二階へ。

何回か往復したが、なかなかむいた栗が増えない。掃除をしたり買い物に出かけたり、忙しく立ち回るついでにむいているみたいだ。悦子は忙しい。私は山本の応援に忙しい。

試合はスミスとマンシーがホームラン。大谷もヒットを打ち5対1でドジャースが勝つた。なにより、山本のカーブが冴えた。2試合続けての完投勝利。最後のバッターをサードフライに打ち取つたときは拍手して「よつしやあ、ようやつた!!」。私の胸がふるえた。



勝った時は、放送が終わりきるまで見る。負けた時はゲームセットと同時にチャンネルを変える。

この日は、もちろん最後まで。山本のインタビューに、そうちかうかとうなずき、解説の田口がゲームを振り替えるのを聞き（田口の解説が的を射つて感心した。さすがだ）、放送が終わるのを確認してテレビを消した。

12時を回つて、いたので昼ご飯に下りた。

皮をむいた栗が、だいぶ増えてしまつたが、まだ3分の2は

水の中。これは手伝わんといけん。

山本の快投に気をよくしていた私は「皮むきを手伝うよ」と悦子に告げた。実は、私は栗の皮むきなどしたことがない。もちろん、いくつかむきながら食べたことはある。でも、こんなにたくさんの栗をむいたことはないし、むこうと思つたこともない。この日は特別だ。山本のおかげ。

さあ、その前に、とりあえず腹ごしらえだ。

10月に入つて、二人とも炭水化物は極力とらないことにしている。ただ、麺がひと玉、冷蔵庫に眠つてゐる。賞味期限が切れるのはもつたいない。それを片付けようというので、ひと玉を分け合つて焼きそばを作つてくれた。だがやつぱり麺が半玉では物足りない。でも我慢だ。この我慢がいい。なんか、がんばつての感がある。ペロリと食べて、さあ皮むきだ。

## IV 栗の皮をむく私

カウンターを挟んで悦子はキッチン側に立ち、私はそのままに向かいの椅子に腰かける。悦子にむき方を教わり作業開始。中には、ちっちゃいものが混じつていて、「これは誉が拾つたんじやろうのう」。小学一年生の孫がおばあちゃんと栗拾いに興じる姿を思い浮かべながら手を動かす。

なかなかにむずかしい。クリつとむけた時は気持ちいいが、たいていは渋皮が残る。だんだん親指の先が痛くなる。私の親指の爪はどんどんぼうだからいい。でも悦子は日頃から爪の手入れに余念がない。栗の皮むきはかわいそうだ。しかし、黙々とむく。えらいなあ。ふと田部さんの顔が浮かんだ。栗の皮むき器をもつてゐると言つていて。あつという間にむけますよと。しかし、もう遅い。それでも一時間かかったらうか無事終わつた。「手が多ければ早いね」と言つてくれた。ふだん家事はなにもしない私だ。少しばかりうれしかつた。むいた栗をはかりにかける。800グラムあつた。

## V 『ワースポ MLB』を見る私

栗をむくのを手伝おうと思ったのは、山本のおかげだ。大谷にしても山本にしても最近は佐々木もだが活躍してドジャースが勝てば気持ちが前向きになる。悦子のためにもがんばつてほしいものだ。私のまわりには、そんな人がけっこういる。つくづく思う。なんでこんなに……。

元気のついでに庭の草取りをした。雨が降り始めたので5時前にやめた。たいして進まなかつたが、それでも気持ちいい。いい日曜日になつた。山本君、大谷君ありがとう。

日曜日の『ワースポ MLB』は9時からだ。ひさしぶりに『べらぼう』を見て待つた。ところが9時になつても始まらない。阪神とソフトバンクをやつてゐる。ソフトバンクが10対1で勝つてゐる。9時15分になつてそちらはBS2に移り、『ワースポ MLB』は始まつた。昼間見たゲームをまた……。またまた思つた。なんでこんなに……。

このチラシが折り込まれるのは11月2日。もしかして、この日、第7戦が戦われる？

どちらにしても、朝の大谷ウォッチングは来年3月までな

い。遅ればせながら、読書の秋にしようか。

2025年11月2日